

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)

【公開番号】特開 2017-196216 (P2017-196216A)

【公開日】平成 29 年 11 月 2 日 (2017.11.2)

【年通号数】公開・登録公報 2017-042

【出願番号】特願 2016-90321 (P2016-90321)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 2 日 (2019.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転可能な複数の可動体と、
操作可能であって、前記複数の可動体を回転させる始動操作手段と、
前記複数の可動体それぞれに対応して設けられ、回転している前記可動体を停止させる
ことが可能な停止操作手段と、
前記停止操作手段の操作態様の指示を実行する指示手段と、
所定の演出を実行する演出実行手段と、を備え、
前記始動操作手段が操作されて前記複数の可動体が回転し、当該複数の可動体それぞれ
に対応して設けられた前記停止操作手段が操作されると 1 回のゲーム結果があらわれる遊
技機であって、
前記遊技機には、
前記指示手段によって前記停止操作手段の操作態様の指示を実行可能な指示可能区間と
、前記指示手段によって前記停止操作手段の操作態様の指示を実行不可能な指示不可能区
間とがあり、
前記指示可能区間において、前記 1 回のゲームの進行に基づいて更新されうる第 1 パラ
メータが所定の閾値に達した場合には、前記指示可能区間から前記指示不可能区間へ移行
させる区間移行手段と、をさらに備え、
前記指示可能区間には、特別な条件を満たすと複数のゲームに亘って前記指示手段によ
る指示を実行する指示発生区間があり、
前記 1 回のゲームの進行に基づいて更新されうる前記第 1 パラメータは前記演出を決定
するときに用いられうるようになされており、
前記指示可能区間と前記指示不可能区間とを比較した場合、前記指示不可能区間よりも
前記指示可能区間の滞在割合が高い
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

回転可能な複数の可動体と、操作可能であって、前記複数の可動体を回転させる始動操作手段と、前記複数の可動体それぞれに対応して設けられ、回転している前記可動体を停止させることが可能な停止操作手段と、前記停止操作手段の操作態様の指示を実行する指示手段と、所定の演出を実行する演出実行手段と、を備え、前記始動操作手段が操作されて前記複数の可動体が回転し、当該複数の可動体それぞれに対応して設けられた前記停止操作手段が操作されると1回のゲーム結果があらわれる遊技機であって、前記遊技機には、前記指示手段によって前記停止操作手段の操作態様の指示を実行可能な指示可能区間と、前記指示手段によって前記停止操作手段の操作態様の指示を実行不可能な指示不可能区間とがあり、前記指示可能区間において、前記1回のゲームの進行に基づいて更新される第1パラメータが所定の閾値に達した場合には、前記指示可能区間から前記指示不可能区間へ移行させる区間移行手段と、をさらに備え、前記指示可能区間には、特別な条件を満たすと複数のゲームに亘って前記指示手段による指示を実行する指示発生区間があり、前記1回のゲームの進行に基づいて更新される前記第1パラメータは前記演出を決定するときに用いられうるようになされており、前記指示可能区間と前記指示不可能区間とを比較した場合、前記指示不可能区間よりも前記指示可能区間の滞在割合が高いことを特徴とする遊技機。